

菊川市立総合病院臨床工学科では当院で保有する医療機器の安全使用のための一環として血糖測定器の点検をしています。

その方法と結果の一例をご紹介します。

<血糖測定器>

その名前通り体内の血糖の濃度を測定する医療機器です。

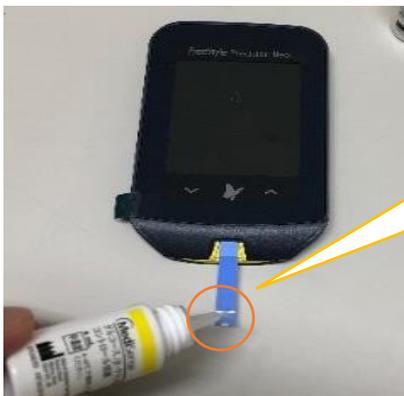


(写真はフリースタイルプレジジョンネオ)

<測定方法>

手の指先に細い針を刺し血液が少し滲み出したらそれを電極の先端に垂らすことで電極に血液が吸収され本体に読み込まれることで血中の血糖の値を測定します。

生体の基準的な値としては、空腹時でおよそ70~100mg/dl 食後で100~140mg/dlと言われます。



実際は血液を垂らし
て測定します

このように画面上に
値が表示されます



菊川市立総合病院では全 32 台の血糖測定器を保有しています。

今回は全 32 台のうち 26 台を点検しました。

機種別に、フリースタイルプレジジョンネオ:5 台・プレジジョンエクシード:21 台

<点検に使用するもの>

・ 機器本体



・ 測定用電極



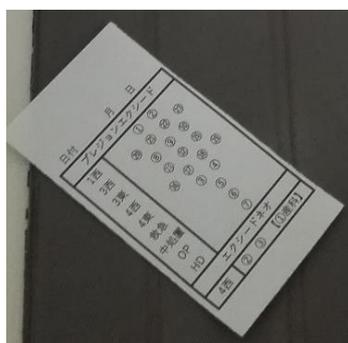
・ 試薬(3種類)



・ 結果入力用タブレット



・ 貸出No.確認用紙



<点検の方法>

～外装の点検～

- ① 本体に傷や過度な汚れがないか確認します。
- ② 画面は全体が確実に表示されるか確認します。
- ③ ボタンはしっかりと反応するか確認します。
- ④ 上記の結果を点検用タブレットで適/否を選択します。



～精度の点検～

- ① 血糖測定器に普段使用しているものと同様の電極を差し込みます。



- ② その電極に3種類(低濃度・中濃度・高濃度)の試薬を垂らします。



(写真は中濃度試薬)

- ③ それぞれの試薬の濃度の値が基準値内であることを確認します。

(低濃度:31~61mg/dl 中濃度:68~124mg/dl 高濃度:216~366mg/dl)



- ④ その各値を点検用のタブレットに入力します。
- ⑤ また、前回の値とのズレが大きくないかも併せて確認しています。



- ⑥ 基準値から外れたものは修理または新規購入をします。
- ⑦ すべての点検項目で異常がなければ点検は終了。
- ・以上の流れを全台で行います。

～結果：今回の点検では全箇所の全台で異常はなく、値も基準値内でした。～

医療機器の安全使用のため血糖測定器の点検を行い、精度の面では全台で異常がなくとても良い結果が得られました。外装の面でも全台で本体に汚れや傷なども無くとてもきれいな状態でした。

それは日々使用している方々が丁寧に使用してくれているからだ実感し、医療機器を安全に使用するため日々点検を繰り返すのは当然ですが、実際に使用する人に丁寧扱ってもらうことも非常に大切なことだと今回の点検を通して改めて思いました。